

名古屋市緑化センター・鶴舞公園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	公益財団法人名古屋市みどりの協会		
主な業務内容	名古屋市緑化センター・鶴舞公園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番168号		
評価対象期間	平成31年4月～令和2年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和4年3月

2 評価結果

評価項目		評価区分	特記事項												
管理体制及び協働	1 管理体制	○	多様な団体と協働しており、地域に根差した公園であることがうかがえる。 新型コロナウイルス感染に関する掲示や対応も適切に実施した。												
	2 協働														
維持・管理運営等	1 維持管理	◎	管理水準以上の維持管理を実施するとともに、経費の削減に努め、計画以上の修繕を行っている。利用者意見を踏まえた修繕場所の選定や、企業や市民の協力を得た修繕実施など、利用者目線の姿勢を評価したい。 また、サクラの土壌改良やガゼボの設置によるバラの演出改善、紅葉スポットやフォトスポットの整備など、公園の特色を生かした維持管理により魅力向上に努めている。												
				2 運営管理	○	講習会やイベント開催時にアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めている。有料公園施設では、アンケートに加え、見学会を開催するなど利用促進に努め、稼働率の向上につながった。									
							3 この施設特有の管理	◎	開園110周年の記念イベントや歴史ガイドツアー、奏楽堂を活用したワインフェスやバラ園を眺める展望デッキの設置など、公園の魅力を活かした取り組みを行っている。 また、ホームページの新規開設、職場体験の受け入れや出張園芸相談を積極的に行うなどしてPRに努めており、緑化センターの入館者数は過去最多を記録した。						
										4 魅力増進・利用促進	◎	繁忙時の増員やリアルタイムの予約状況公開など、利用者サービスと効率化を図っている。			
													5 収納金の処理業務	○	計画以上の収益を達成し、市民と協働した奏楽堂手摺の塗装やバラ園のガゼボ設置、モミジやマツの適切な場所への移植など、公園の魅力向上のために還元策を実施した。
	2 自主事業	○	法令・協定の遵守 事業計画との比較分析												
				3 自主事業	○	経費削減策 年間収支									
	4 自主事業	○	植物や工作物の維持管理を適切に行うとともに、バラ園の改修や展望デッキの設置など、来園者のニーズを把握して満足度を上げる取り組みを着実に進めている点が評価できる。 自主事業についても、店舗の評価等を実施して収益向上に繋げている。 また、110周年記念の各種イベントや歴史ガイドツアーなど、歴史と資産を活かした新しい取り組みがなされたが、今後は、明治や昭和の雰囲気や、鶴舞公園の歴史と文化といった魅力を楽しんでいただくことに主軸を置くなど、テーマ性のある行事開催を目指すとともに、SNS等による情報発信に取り組んでいただきたい。												
				5 自主事業	○	経費削減策 年間収支									
	1 自主事業	○	法令・協定の遵守 事業計画との比較分析												
				2 自主事業	○	経費削減策 年間収支									
	3 自主事業	○	植物や工作物の維持管理を適切に行うとともに、バラ園の改修や展望デッキの設置など、来園者のニーズを把握して満足度を上げる取り組みを着実に進めている点が評価できる。 自主事業についても、店舗の評価等を実施して収益向上に繋げている。 また、110周年記念の各種イベントや歴史ガイドツアーなど、歴史と資産を活かした新しい取り組みがなされたが、今後は、明治や昭和の雰囲気や、鶴舞公園の歴史と文化といった魅力を楽しんでいただくことに主軸を置くなど、テーマ性のある行事開催を目指すとともに、SNS等による情報発信に取り組んでいただきたい。												
				4 自主事業	○	経費削減策 年間収支									
	5 自主事業	○	法令・協定の遵守 事業計画との比較分析												

【総合評価】

植物や工作物の維持管理を適切に行うとともに、バラ園の改修や展望デッキの設置など、来園者のニーズを把握して満足度を上げる取り組みを着実に進めている点が評価できる。  
自主事業についても、店舗の評価等を実施して収益向上に繋げている。  
また、110周年記念の各種イベントや歴史ガイドツアーなど、歴史と資産を活かした新しい取り組みがなされたが、今後は、明治や昭和の雰囲気や、鶴舞公園の歴史と文化といった魅力を楽しんでいただくことに主軸を置くなど、テーマ性のある行事開催を目指すとともに、SNS等による情報発信に取り組んでいただきたい。

# 施設の現状

## 名古屋市緑化センター・鶴舞公園

施設の現状	施設概要							
	<p>鶴舞公園は、名古屋市が設置した最初の公園として、平成21年度には開園100周年を迎えた歴史ある公園です。サクラやハナショウブなどの季節の花々の咲く緑ゆたかな園内には、開園当時をしのばせる噴水塔や、普選記念壇、奏楽堂等の施設のほか、野球場やテニスコート等の運動施設があり、市内随一の市民の憩いの場となっています。</p> <p>また、鶴舞公園内にある名古屋市緑化センターは、植栽知識の普及及び市民の緑化意識の高揚を図り、緑ゆたかなまちづくりを推進する拠点施設として、昭和55年に開設しました。場内は外周に見本園を配し、家庭や事業所緑化の参考となる各種樹木が栽培されています。館内は、緑化に関する相談・指導、各種資料の展示、講習会・研修会の場として幅広く利用されています。</p>							
	市の収支状況(千円) (元年度決算見込み額)							
	支出			収入				利用料金
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	228,658	-	228,658	71,755	101	156,802	228,658	—
	特記事項							
	指定管理区域を、鶴舞公園有料3施設も含め平成22年度から鶴舞公園全域に拡大							
	管理運営指標の状況	取組状況						
		指標	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
講習会受講者数		人	2,045	2,010	1,732	1,701		
緑化相談者数		人	1,752	1,713	1,571	1,373		
入館者数		人	184,939	192,161	183,231	176,585		
特記事項								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載